

仙台八木山防災連絡会で招待講演しました(2016/5/14)

テーマ：2004年インド洋大津波、2011年東日本大震災

場所：仙台市青葉区八木山市民センター

平成28年5月14日(土)、仙台八木山防災連絡会総会が八木山市民センターにて開催されました。総会後に、災害科学国際研究所 サツパシー アナワット准教授(災害リスク研究部門 津波工学研究分野)が『インド洋津波から十二年、今どうなっている?』と題して招待講演を行い、2004年インド洋大津波の被害と現在までの復興状況と2011年東日本大震災被災地復興のそれぞれの観点(津波警報システム、都市計画、災害遺構、防災教育など)での比較について述べました。その後、これまで国内外での減災出前授業等で行ってきた「減災スタンプラリー」から選んだ質問をクイズ形式で実施したところ、多くの方が自助と共助で回答するという結果がでました。また最後に、当研究所による平成28年熊本地震の調査活動についても紹介しました。講演後は、2004年インド洋大津波の被災地での避難計画、津波避難ビル、災害遺構、災害危険区域等について多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



仙台八木山防災連絡会の総会・招待講演の様子

文責：サツパシー アナワット(災害リスク研究部門)

写真：高橋智哉氏(八木山市民センター)